

# 春号 みどり通信

発行 21世紀記念公園 麓山の杜管理事務所  
 連絡先 〒963-8876 郡山市麓山1-16-17  
 TEL 924-2194 FAX 924-2195

## 【記念樹交付日】

場所：とんがりふれあい館ホール

対象：記念樹交付者

①日時：令和2年6月21日(日)

10:00～15:00

②日時：令和2年6月28日(日)

10:00～15:00

※新型コロナウイルス感染防止のため、時間を区切って交付します。マスクの着用などのご協力をお願いします。

## 【今後の記念樹交付予定日】

場所：とんがりふれあい館ホール

対象：記念樹交付者

①日時：令和2年9月27日(日)

10:00～15:00

②日時：令和2年10月25日(日)

10:00～15:00

※夏季は植樹に適さないので、交付しておりません。申請は受付しております。

## My ガーデニング

・・・季節のワンポイントアドバイス



### 【水やり】

この春に植え替えた植物は、特に芽を膨らませ葉を広げるために、水分をたくさん必要とします。仮に細かい根がよく発達していた場合でも、一度乾燥させてしまうと枯れてしまうことがよくあります。それ程に水分が必要な時期です。雨が降らない時には、しっかりと水分が根まで届くようにあげます。芝生も同じです。新しい根が伸びるまでは乾燥に弱いですが、しかし、いつも湿っていることが良い訳ではありません。根は呼吸をしているので新鮮な酸素が必要です。その為には、乾燥も必要であり、水の通りの良い土壌条件も求められます。出来ればこの時期は午前の時間帯にあげるようにします。乾燥、雑草などを抑える為には、腐葉土などでマルチング(土壌表面を被う)をすると良いです。

### 【植替え】

これから新芽が伸び始めるので、多くの樹種で植替えは適しません。針葉樹や落葉樹は秋まで待ちます。

常緑広葉樹は、今年伸びた芽が固まる梅雨ごろまで待ちます。まだ芽が柔らかいときに植え替えると、掘っている最中に芽がしおれてしまいます。ただし、春先に移植した場合や鉢植えの樹木は大丈夫です。自分の都合ではなく植物にあった植え替えが一番大事です。

多くの樹木に共通している良い土壌は、赤玉土6～7割、腐葉土3～4割が基本用土です。それに一割程度のパーライトを混ぜ込みます。ぐっと良くなります。土壌は透水性、通気性、保水性、保肥力などが大切です。市内で多く利用される山砂は決して良好な土壌ではありません。麻の布と縄で根巻している樹木は、それを外さずに植え込みます。鉢植えの場合も、これからは鉢を外して少し土を落す程度で植えます。植穴の大きさは根巻した鉢の大きさの倍くらいの広さと深さを基準とします。そして、十分に水をあげます。また、風で樹木が動かないように支柱を設置します。倒れないようにと深植えすることは厳禁です。

**【肥料】**

この時期は一般的には肥料はあげません。サツキツツジなどの春から咲く種類は、花後にお礼肥をあげると芽の伸びが良くなり、花芽もつきやすくなります。化成肥料の場合は、特に窒素成分が低い物（8-8-8）は失敗が少ないです。芝生もこの時期に肥料をあげます。草花などを植え込む時には元肥として根に接しない所にあげます。

**【病害虫】**

病気は予防、害虫は早期の退治が基本です。カエデ類の新梢に“アブラムシ”が発生していませんか？その後、別の病気を併発したりするので防除が大事です。

暖かくなるにつれて“ケムシ類”が発生し始めました。これも早めに見つけて、広げず、大きく成長しないうちに退治します。その際、ケムシの種類により毒を有する場合がありますので注意が必要です。ケムシがつくと枝ごと切っ退治する方がいますが、それでは樹木が可哀そうです。

マツクイムシによる松枯れ対策もこの時期から行います。実際にはマツクイムシがいるわけではありません。マツノダラカミキリによってマツノザイセンチュウがマツに侵入することによっておきる萎凋病です。カミキリが飛び始めるのが 5 月ごろからです。その予防としてスミチオン乳剤などを定期的に散布しておきます。松枯れは樹勢が落ちてきたものから被害がみられます。

バラ、カエデ類、ハナミズキなどにできる“うどんこ病”も厄介な病気です。この時期から梅雨に入る前までに一回目の発生があります。病気は発生する時期がほとんど決まっているので、その前に定期的な薬剤の散布をし、発生を抑えることができます。病気が現れてしまうと、その病徴を修復する事は難しいです。薬剤は新薬のほうが値段は高いですが効果もあるようです。薬液は樹木全体にまんべんなく散布しないと効果はありません。ヒトも同じですがストレスを与えず植物に合った良い環境で健全に育てる事が、病害虫を寄せ付けない一番大切な事です。

**【剪定】**

常緑広葉樹の剪定はこれからが適期となります。ツバキは開花後にこれから伸びる新芽の先で切るようにします。そうするとまた蕾が付きやすくなります。下の写真の紫色の花はミツバツツジですが開花後にはシャクナゲなどと同じように花柄を摘み取ります。そうしないと結実し木が弱ってしまいます。ツゲやマサキなどの常緑広葉樹の生垣も、これから芽が伸びだしたら、こまめに刈込剪定をします。キャラボクやヒバ類なども同様です。マツ類は、これから新芽(みどり)を伸ばしますので、切り詰めて樹形を作っていきます。

落葉樹は新芽が伸び始めているこの時期は剪定は向いていません。

**【身近な樹木の紹介】****ヤマツツジ(山躑躅)**

この時季に郊外の山林で見かけるのがヤマツツジです。アカマツやコナラなどの木陰で咲いている姿には美しさを感じさせてくれます。この公園内でも見ることができます。ツツジ科ツツジ属に属する低木です。北海道南部から九州にかけて分布します。実生で増えますので個体によって花の色には違いが出てきます。移植によって弱ってしまうことも多く見られます。このツツジも花後には花柄を摘み取るようにします。またウメノキゴケがつくようだと弱り始めている兆候です。

